

新たな観測データの緊急地震速報への活用開始について

気象庁では海底地震計や地中深くに置いた地震計の観測データの緊急地震速報への活用を進めていますが、新たに3月31日10時から下記の観測網のデータについて活用を開始します。

これにより、以下の例のとおり緊急地震速報(警報)をこれまでより早く発表できるようになります。

- 南海トラフ沿いの巨大地震について、海底に設置されている地震計で地震波をより早く検知することで、最大数秒早く発表することができます。
- 首都圏直下の地震では、地中深くに設置されている地震計で検知することで、最大1秒程度早く発表することができます。

今後も相互に連携して新たな観測網のデータを活用し、緊急地震速報の充実に取り組んでまいります。

記

- ◆ DONET¹の活用 : 2点
- ◆ KiK-net²の活用 : 15点
- ◆ 多機能型地震計³の活用 : 50点

- 1 (独)海洋研究開発機構が紀伊半島沖熊野灘に設置し、運用している「地震・津波観測監視システム」
- 2 (独)防災科学技術研究所が設置し、運用している「基盤強震観測網」(KiK-net)のうち、南関東の概ね500m以上の深さに設置されたもの
- 3 気象庁が設置し、運用している地震計で、緊急地震速報のためのデータ処理機能と計測震度計の機能を併せ持ったもの

・緊急地震速報への活用に関する問合せ先

気象庁 地震火山部 地震津波監視課 電話 03-3212-8341(内線 4559、4544)

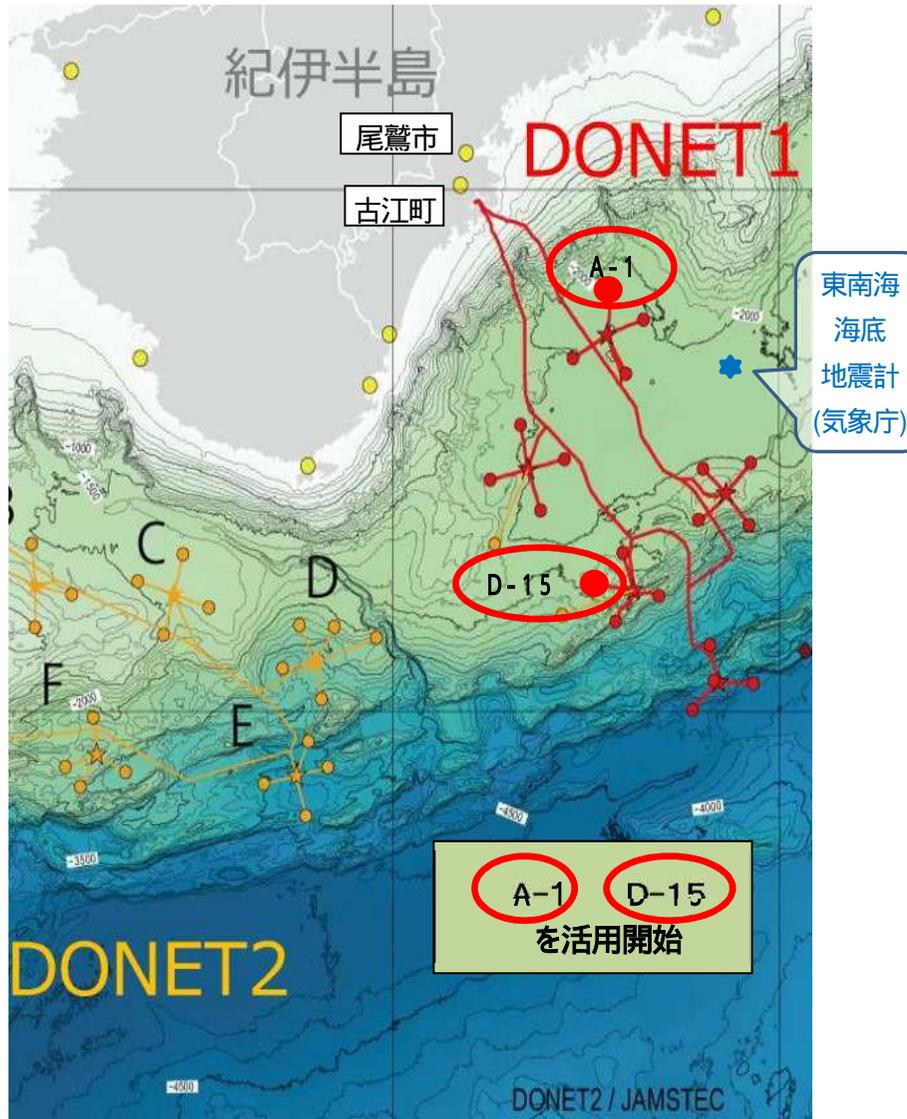
・KiK-net 観測網に関する問合せ先

(独)防災科学技術研究所 アトリ-チ 国際研究推進センター アトリ-ガル-フ 電話 029-863-7784(直通)

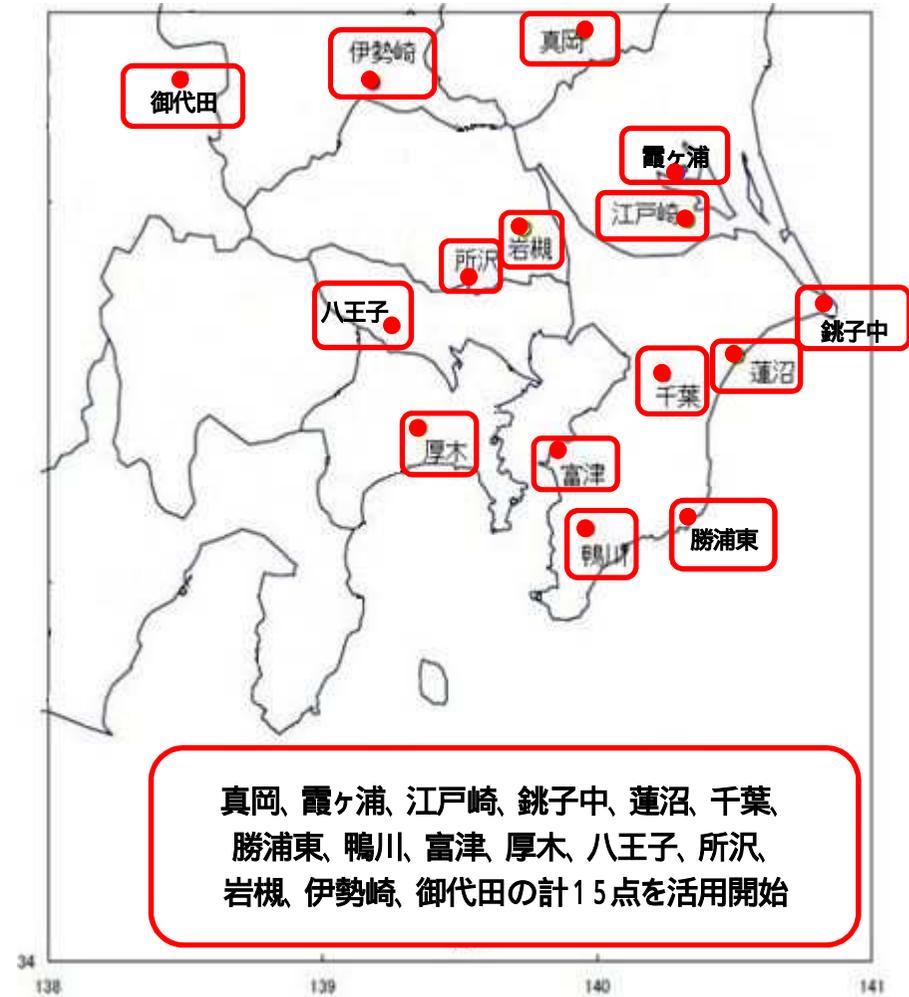
・DONET 観測網に関する問合せ先

(独)海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター 電話 045-778-5730(直通)

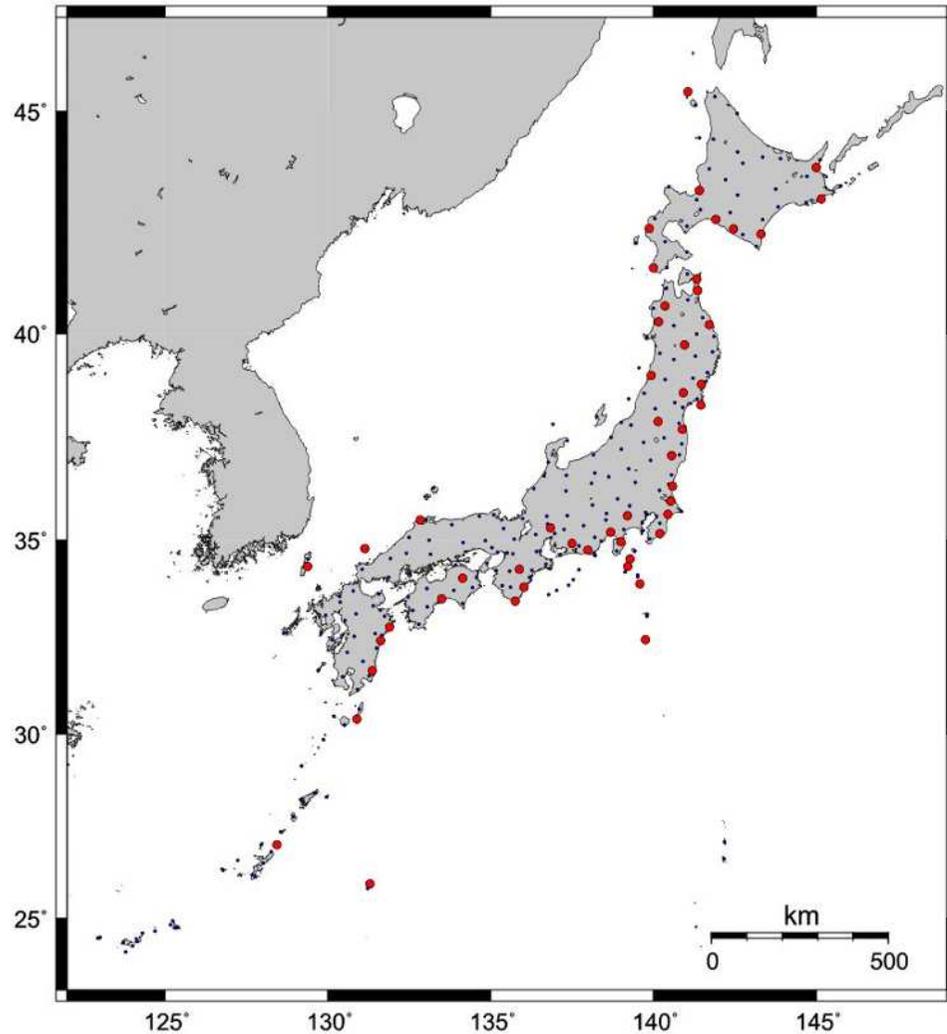
(独)海洋研究開発機構「DONET(熊野灘)」の配置図



(独)防災科学技術研究所「KiK-net(南関東)」の配置図



気象庁「多機能型地震計、海底地震計」の配置図



活用中: 220点

活用開始: 50点

次の50点を活用開始

| 都道府県 | 観測点名称 | 都道府県 | 観測点名称 |
|------|--|------|-------------------------------|
| 北海道 | 釧路浜中、十勝広尾、 日高新ひだか、 胆振厚真、石狩聚富、 檜山せたな、 根室標津、渡島松前、 礼文島 | 東京都 | 利島東山、式根島北、 御蔵島西川、 青ヶ島向沢 |
| | | 神奈川県 | 相模原若柳 |
| | | 静岡県 | 富士中野、掛川篠場、 伊豆八幡 |
| 青森県 | 青森東通、 青森六ヶ所、弘前百沢 | 愛知県 | 一宮千秋、新城矢部 |
| | | 三重県 | 三重御浜 |
| 岩手県 | 久慈枝成沢、岩手雫石 | 奈良県 | 奈良天川 |
| 宮城県 | 気仙沼本吉、 大崎古川大崎、 石巻小湊浜 | 和歌山県 | 和歌山串本 |
| | | 島根県 | 出雲坂浦 |
| | | 徳島県 | 美馬穴吹 |
| 秋田県 | 能代常盤 | 高知県 | 高知春野 |
| 山形県 | 山形遊佐、 米沢アルカディア | 山口県 | 萩見島 |
| | | 長崎県 | 対馬美津島 |
| 福島県 | 福島古殿、南相馬栃窪 | 大分県 | 佐伯蒲江 |
| 茨城県 | ひたちなか山ノ上、 潮来堀之内 | 宮崎県 | 日向日知屋、日南北郷 |
| | | 鹿児島県 | 南種子、与論島 |
| 千葉県 | 山武松尾、鴨川内浦 | 沖縄県 | 北大東島 |